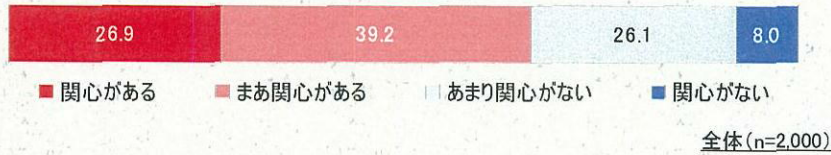


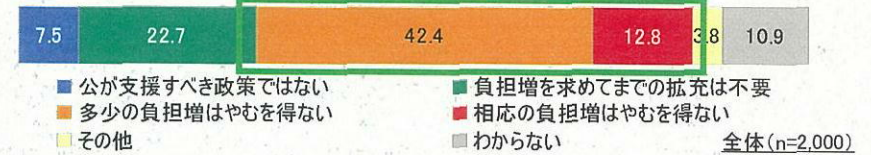
6-1. 少子化対策について

関心度



- 少子化対策に「関心がある」人は**27%**。「まあ関心がある」人を含めると全体の**66%**の人が**関心をもっている**。
- 女性の方がやや関心が高く、「関心がある」・「まあ関心がある」の合計では、男性**64%**、女性**68%**と**女性の方が高くなっている**。
- 年代別では、20代、30代の若年層で関心が高め。一方、40代、50代は他世代よりも少子化対策に対する関心は低くなっている。

少子化対策(子育て支援)の負担のあり方



- 「拡充を図るべきであり、そのために多少の負担増となることについてはやむを得ない」と考える人が最も多く**42%**。
- 少子化対策のための**負担増について、容認する人が過半数を超え55%**となっており、反対する人を25ポイント上回っている。

問題点・改善点

- 自由回答を大別すると「仕事との両立」「支援の拡充」「社会・意識の改革」「対策不要」に大きく分かれた。
- 「支援の拡充」に関しては、“保育・託児施設”や“子育て手当”など**子育てに関するハード面・経済面での支援拡充を求める意見**が出された。
- 「社会・意識の改革」については、“社会で支える仕組み”“安心して出産・子育てができるシステム”など**国全体で意識を変えていくべきとする声**が挙げられた。
- 一方で、少子化対策については、“国が関与すべきではない”“子供が増えても根本的な解決にはならない”など**少子化対策自体を否定する意見**も出された。